



就農年月：平成 20 年 12 月 (就農時 53 歳)  
 就農場所：あわら市後山  
 出身地：あわら市 (兼業農家出身)

かわさき まさいちろう  
**川崎 雅一郎**さん

## アグリスクールを受講して、新たに園芸に取組み就農！

- ・ふくいアグリスクール入門コース+実践コースを受講
- ・水稻兼業農家から園芸農家として、地元の豊かな自然と水を生かしたおいしい野菜とお米づくりに取り組む。

### 経営内容

品 目：ミディトマト (春 8a、秋 4a)、  
 コマツナ (4a)、水稻 50a  
 販売先：直販、JA 出荷  
 労働力：本人、母




栽培するミディトマト

### 園芸を始めたきっかけは？ (就農の動機)

農家組合長を引き受けたのをきっかけに、農業新聞等で農業に関する情報を積極的に収集するようになりました。

その過程で、食に関する意識、今後の農業の重要性、期待感が高まり就農を決意しました。



50歳を過ぎてからの就農でしたが、今思えばもっと若い時  
か資金に余裕のできる定年後から始めても良かったかなと  
思います。

研修制度を利用することで、技術の習得だけでなく、新規就  
農者の仲間も出来て良かったと思います。

## 就農までの道のり・苦労した点

### 1 栽培技術の習得

自作地が中山間地で水稻単作では厳しいと思い、園芸品目の導入を考えましたが、栽培技術が乏しかったので、地元の県園芸振興センターに相談して、研修制度を利用し、技術習得に励みました。

しかし、就農当初、研修中はでなかった病害虫がでたりして対応に苦労しました。技術資料からの知識習得や栽培記録を見直すことで、より良い作物を収穫しようと頑張っています。

### 2 農地の確保や施設などの整備

施設は自分の農地に建てたので、苦労はありませんでした。県やJAからの補助制度などに関するアドバイスは参考になりました。



### 3 家族の理解など

会社員生活から自然相手の不安定な園芸に転向することへの理解はなかなか得られず、時間がかかりました。園芸を始めたい動機や、今後の計画を粘り強く話しようやく理解を得ることができました。

## ふくいアグリスクールとは…

農業を始めたい方に向けた研修で、段階に応じて3つのコースがあります。

入門コース…働きながら園芸の基礎知識が習得できる研修(年間12回程度、日曜日に開催)

実践コース…就農に向けて模擬経営ができる実践研修

プロコース…主に就農後の方に、演習や討議などの座学を中心とした経営研修